

ぶんと通信

第68号

2010年2月15日発行
伊賀市文化都市協会

博要の丘(旧博要小学校)

昭和に戻る？ 山に囲まれた旧小学校で、

こころの原風景を見つめる。

民家と田園という、のどかな風景が広がる伊賀市南部(旧青山町)種生。「徒然草」で知られる吉田兼好が晩年を過ごしたと言われている地でもあり、兼好の墓所とされる「兼好塚」もこの地区にあります。

山を背負っているかの様なその小学校跡は、明治9年(1876年)に種生学校として開校、後に校名を「博要」と名づけられました。現校舎は昭和27年(1952年)に建設、平成15年(2003年)に小学校統合により廃校となりましたが、築60年近くになるレトロな佇まいの木造校舎は、市民センター・交流の場として整備され「博要の丘」という名称となり、地域の方々によって維持管理されています。

校舎の中に入れば小学校存続当時の空気がそのまま残っています。現在も利用可能な状態の給食室、手洗い場、遊具、木の床、木の引き戸。廊下の壁面には、メモリアルコーナーとして明治の頃から平成14年、最後の卒業までの集合写真がずらりと並んでいます。30名以上の卒業生がいた時代から、わずか数名の平成時代まで。昭和初期は制服ではなく、軍服でしょうか…。写真から、当時の賑わいや世相をうかがい知る事ができます。

この季節は、山に囲まれてひっそりとしているこの施設も、夏季を中心としたイベントシーズンになると、蛍の観賞会や、キャンプ大会・夜の肝試しなど、多くの子どもたちが訪れます。グラウンドで元気に走り回る子どもたち、校庭に響きわたる賑やかな声：かつてはこの光景が日常だったんだなと感慨深く眺めてしまいます。

この学校の卒業生ではなくても、足を踏み入れた瞬間から、どことない懐かしさを感じてしまいます。童謡が聞こえてくるような「日本人のこころの原風景」がそこにありました。

(広報事業委員 下猶茂樹)

BUNTO チケット情報

佐藤しのぶオペラ・ファンタジー
蝶々夫人

3/5金 好評発売中

開場18:30 開演19:00
一般 2,500円
高校生以下 1,500円
(全席指定)
伊賀市文化会館

東京混声合唱団
青山ホール特別公演

3/6土 好評発売中

開場13:30
開演14:00

一般 2,000円
(全席指定)
青山ホール

第10回
能楽鑑賞会

3/7日 好評発売中

開場13:00
開演13:30

一般 1,000円
高校生以下 500円
(全席自由)
ふるさと会館いが

青山ホールこども劇団
「うてかえりこんぼ」
第5回定期公演

3/14日 好評発売中

開場13:30
開演14:00

一般 700円
小学生以下 500円
(全席自由)
青山ホール

第30回
新人演奏会
in いが

4/11日 3/7日完

時間未定

一般 1,000円
高校生以下 500円
(全席自由)
伊賀市文化会館

第5回
さんさん名曲コンサート
「たまには気楽にクラシック」

5/2日 3/13日完

開場13:30
開演14:00

500円
(全席自由)
あやま文化センター

先取りインタビュー

佐藤しのぶさん伊賀公演

佐藤しのぶさんは、日本を代表する声楽家としてソプラノ歌手として世界でご活躍されています。佐藤さんが出演する番組や舞台を拝見しますと、圧倒的で素晴らしい歌唱力と華麗な姿に魅了され、感動せずにはおられません。伊賀の舞台上で歌い、演じられるその日を心待ちにしています。公演に立って、佐藤さんにおうかがいさせていただきます。佐藤さんは、文化放送音楽賞、都民栄誉賞、ジロー・オペラ賞大賞、マドモアゼル・バルファム賞、日本文化デザイン賞大賞を受賞されています。テレビ神奈川「佐藤しのぶ 出逢いのハーモニー」のパーソナリティを務め、今年11年目を迎える。CDは11枚リリース。著書には「佐藤しのぶ出逢いのハーモニー」、「歌声は心をつなぐ」(東京書籍)があります。

Q. 佐藤さんと歌との出会いとオペラ歌手として歩み始めるきっかけをお聞かせください。

A. 音楽との出会いは幼稚園時代。園に置いてあったオルガンから一日中離れない私を見て、先生が「何か楽器を習わせたらどうですか」と親に話してください、ピアノを習うことになりました。

待望のピアノが家に来た日を、今でも覚えています。音楽好きな両親のもと、大好きなクラシック音楽に囲まれる毎日。中学一年生になり、「大好きなクラシック音楽三昧の生活がしたい」と思うようになり、音大附属高校への受験勉強を始めました。その頃、教えていただいた声楽の先生から「君はきれいな声をしてるね。僕と一緒に勉強しよう。」と言われピアノ科から声楽科へ進路を変更し、無事合格。その後、音大へ進み、恩師から「オペラ歌手になる道は必ず開けるから」と言われ、文化庁のオペラ育成機関を勧められ、絶対に受からないと思っていたオペラ研修所に最年少で合格。首席で卒業し、在外派遣の試験に合格し、ミラノへ留学。たくさんの方々にご指導を賜り、支えられ、チャンスをいただいて、今があると思っています。

Q. 幼いころから音楽あるいは声楽を始められ、これまで続けられてこれたのは、先生やご両親などその他支えていただいた方々がおられたからだと思いますが、佐藤さんが過ご

してこれた音楽環境についてお聞かせください。

A. 両親共に音楽家ではありませんでしたが、幼児期からの特別な英才教育も受けませんでした。また、平凡ではありましたがとても愛情豊かに育てられました。そのおかげで幼い時から自ら自由に音楽を愛し、音楽を将来の道と決め、数多くの方々に導かれ、ご指導を賜り、お一人お一人の愛情を元に現在の自分があります。こうして今日も歌えることに心より深く感謝しております。



Q. 現在、世界的なソプラノ歌手として活躍されていますが、歌手として日頃から大切だと思っておられることを、おうかがいしたいと思います。

A. 健全なる肉体と精神が大切だと思います。そして何より人との愛と信頼が大切です。

Q. 三重県伊賀市をお訪ねになるのは初めてですか？

A. 今回の公演では伊賀の作品を朗読されますが、伊賀や芭蕉などについてのご感想と今回の公演にかけるお気持ちをお聞かせください。

A. 初めてです。芭蕉の生地であり、自然、歴史、伝統に育まれた豊かな文化の街、伊賀にかねてより是非訪れたいと思っていました。また、伊賀の忍者も元々は「心・技・体」を磨くことを目的とした鍛錬法を求めていたと聞きました。これはまさに声楽と全く同じです。

同じ空間の中で生きている生の声だからこそ伝えられることがあると思います。魂と魂が触れ合える瞬間を伊賀の皆様感じていただければ幸いです。全身全霊で歌わせていただきます。

今後ますますご健康でご活躍されますようお祈り申し上げます。(広報事業委員 西岡時彦)

楽屋インタビュー

1月24日(日)青山ホールにおきまして「第20回青山推薦コンサート」が開催されました。出演された伊賀市内の方に感想を伺いました。

アムール・サクソフォン・アンサンブル
青山推薦コンサートに出演させて頂き、ありがとうございました。



私達は県内を中心に各種イベント、演奏会、コンテスト等で演奏させていただいています。サクソフォンの魅力を、音楽の素晴らしさを、ひとりでも多くの方々にお伝えすべく取り組んでいます。10月には大阪でサクソフォンのみのジョイントコンサートも企画しております。アムールの愛が世界中に届きますように。

河内みく

青山ホールのピアノは弾きやすく、すごくきれいな音で、私は人前で弾くのが好きなので、この日をとても楽しみにしていました。大人の方が沢山出演されていたので、勉強になり、沢山の方が聴きにきてくれて嬉しかったです。どうもありがとうございました。将来の夢は、ピアノ関係の仕事なので、また推薦コンサートに出演させてもらえるように、勉強して、素敵な演奏ができるようになりますように。



第20回青山推薦コンサート

澤野佳奈

毎日練習してできていた所も緊張して思い通りに弾けなかったけれど、沢山の方に聴いて頂いてとても良い経験になりました。これからも練習に励んで、また青山推薦コンサートに出演したいと思っています。



福井晟哉

今回で三回目の出演となりました。一回目は小学四年生、二回目は中学一年生、そして今回で三回目となります。小学、中学生の頃は、緊張しましたが、今回は意外とリラックスして楽しく演奏できました。これからも一生懸命練習し、良い演奏ができるように頑張っていきたいです。



松島紗希

今回青山推薦コンサートに五年ぶりに出演させていただきました。大勢のお客様に私の演奏を聴いてもらえて、とても嬉しかったです。今回はショパンの作品を演奏しましたが、近・現代の作曲家の作品にも今後取り組みたいと考えています。大学四年間の内にはワルシャワのショパンアカデミーの短期留学に参加したいと思っています。最後に、主催者の皆様、スタッフの皆様、お世話になりました。

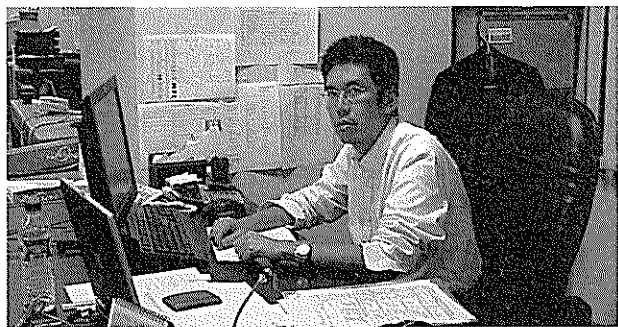




一筆啓上 ふるさとへ

「もっと伊賀から情報発信を」

森永泰生



高校を卒業して、進学のため上京したのが1994年3月。思えば以来15年以上、神奈川～イギリス～東京～そしてインドネシアと、故郷の伊賀からどんどん遠ざかっていく生活です。大学卒業後、東京の警備会社に就職してIT関連業務を担当していましたが、2004年6月からインドネシアのジャカルタに駐在しています。異動を打診された時は、不安よりもむしろ「これはラッキーだ!」という気持ちが先に立ったことを覚えています。

ジャカルタでは県人会や大学同窓会の活動がとても盛んです。私もこちらで知り合った三重県出身の方々やジャカルタ三重県人会を作りしました。ゴルフコンペや食事会を定期的に行い、これまでに70人以上の方々との交流を持たせていただきました。年齢的には私より年上の方がほとんどですが、世代や立場

を超えて共通の話題で盛り上げられるのは本当に楽しく、勉強にもなっています。

友人やお客さんとの会話の中で伊賀の話題が出ると、やはり嬉しいものです。ジャカルタに来てから耳にしたのは、市議会での忍者や芭蕉さんの仮装、伊賀・甲賀両市長による手裏剣対決、といったイベントの話題。私がもし伊賀で暮らしていたら、こういったパフォーマンスの重要性に気づかなかったかもしれません。しかし思い切ったアピールをしなければ、汨濫する情報の中に埋もれて、なかなか伝わっていかないものです。今後も積極的に情報発信をして欲しいと思います。

私の母校、上野高校の校歌に「我らの望み山々を越えて溢れて外に出ん」という一節があります。私は外に出た立場の人間ですが、外から中へという逆の流れもあって然るべきだと思います。その一方で、かつて西岡たかしが「静かな暮らしの上野まち」と歌った、故郷の素朴な雰囲気が残って欲しいとも思っています。より多くの人に伊賀の素晴らしさを知ってもらい、理解してもらった上で伊賀と関わってもらうことが理想でしょう。そのために、もっともっと対外的にアピールすることが必要だと思います。私も微力ながら、その手伝いが出来ればと思っています。そのことが故郷へのせめてもの恩返しになると信じています。

夢ing

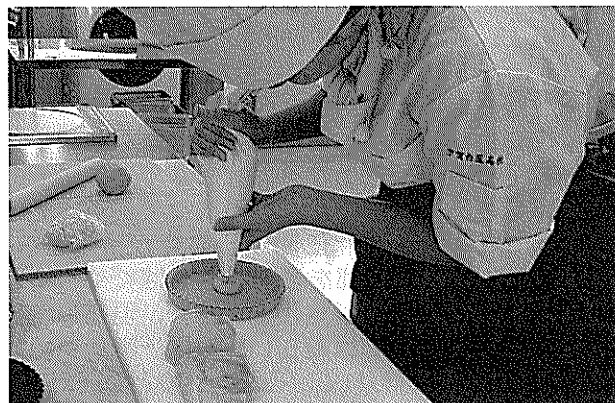
「夢はパティシエ」

三重県立伊賀白鳳高等学校
フードシステム科パティシエコース 1年 森野杏奈

私は、今、伊賀白鳳高校フードシステム科パティシエコースで学んでいます。パティシエコースでは、洋菓子や和菓子、食品の栄養や調理、テーブルコーディネート等について専門的に勉強していくことになります。製菓専門学校通信課程と連携もしており、在学中に、製菓衛生師の国家資格の取得を目指して一生懸命頑張っています。

私がパティシエコースを選んだのは、将来パティシエになるのが夢で、そのために、しっかりと基礎からお菓子づくりを勉強したいと考えたからです。パティシエは、自分が作ったお菓子で一番人を笑顔にすることができる仕事だと思っています。お誕生日や結婚式、嬉しい時も悲しい時も、素敵なお菓子で皆を笑顔にすることができます。そんなパティシエになるために、一生懸命基礎から勉強しています。今までに、辻製菓専門学校の講師の先生に教えていただいて、シュークリーム・イチゴ大福・菓饅頭・タルトを作りました。材料もできるだけ伊賀の地場産を使っていますが、2・3年になると実習の回数も増えるので楽しみです。将来は、地場産の食材を使ったオリジナル

ケーキやアレルギーでケーキが食べられない人にも安心して食べてもらえるようなケーキが作れるようになりたいとおもっています。是非、伊賀白鳳高校パティシエコースの応援をよろしくお願いします。

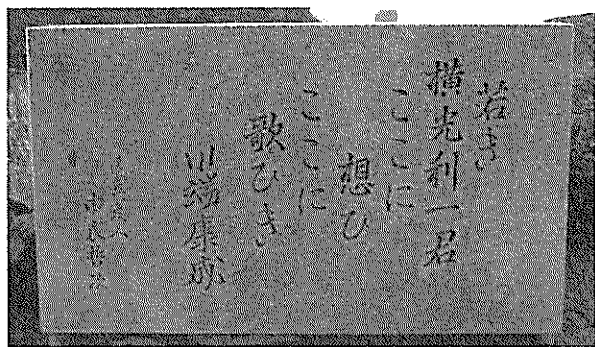


伊賀のええもん見つけた

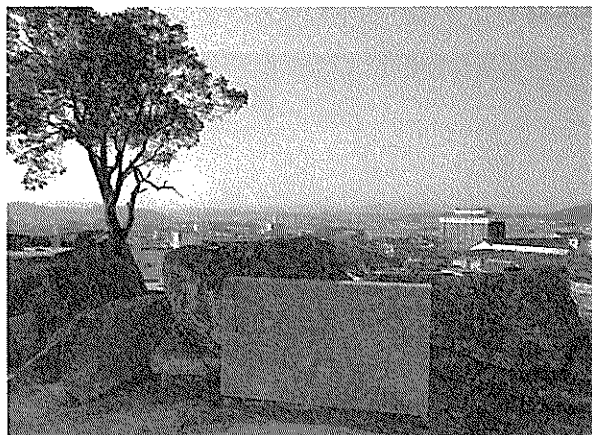
かつて横光利一が学んだ旧制県立第三中学を見おろす上野城の西南の石垣の上の一角に、静かなたたずまいを見せながらその碑は建っている。

碑はお互いを認め合い横光と特に親交が深かった新感覚派の僚友川端康成の言葉がつづられ、中学時代の一年先輩の由良哲次氏の寄贈と聞く。

「質実剛健」体育会系の横光利一がこの場所で逆立ちをし、下を通る女学生たちがキャーキャー騒いだという自己顕示的性格が感じられる横光の一面を物語るエピソードがある。



「横光利一青春碑」



来たる3月14日(日)には市の中央公民館で第12回目の「雪解のつどい」が開催され、今回は彼の作品「蠅」をテーマに興味深く実施される。

文学の神様とも称された横光利一は当市の文化資源の一つとしてすごい宝物であるが、その顕彰はまだ不十分で今後もっと進めていくことが望まれる。

(広報事業委員 池澤基善)

文化あれこれ春夏秋冬

春の訪れを感じる前の寒い季節は全国的に試験のハイシーズンである。

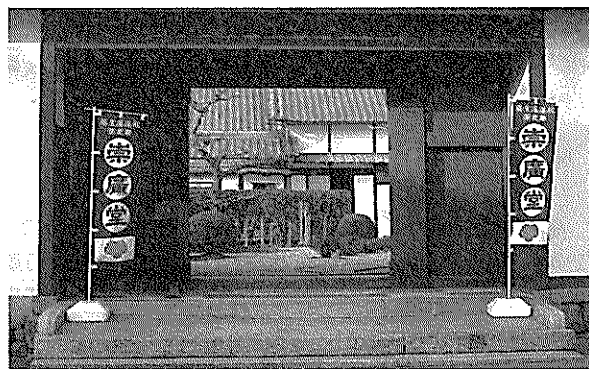
今年で5回目の開催となる「伊賀学検定」も春の行楽シーズン直前に行くことがふさわしいとのことから毎年この時期に行なっている。

日本は観光立国を目指し、外国人観光客受け入れ1000万人を目標に2003年「ビジット・ジャパンキャンペーン」を開始した。しかしながら直近の実績は外的マイナス要因も重なり、前年割れで目標の7割にも満たないとのこと。世界に誇れる歴史・文化遺産や観光資源を持ちながらも、残念ながら受け入れランキング世界28位(2008年)である。

観光によって地域を元気にするためには地域の魅力を確認し、発信しなければならない。そしてそれを築き上げるのはほかでもないその地域に住み、それにかかわる人々である。そこで地域の歴史・文化に関する教育がカギとなる。故郷を知り、故郷を愛する心をはぐくむようなシステムの構築が急務であるが、現在の学校教育に見いだすのは難しい。では、家庭や地域社会でそれが行われているかという疑問だ。

伊賀学検定の上級試験会場は今年も史跡旧宗

「伊賀学・検定考」



廣堂である。伊賀の「あかもん」を目指して、幅広い年齢の多くの人にチャレンジいただいている。決して簡単な問題はなく、意地や自己満足だけでクリアできるものでもない。すべては日々の努力の賜物なのである。地域に光を当て、地域の価値を磨くのは、まちがいなくこういった方々なのだと思う。

観光立国などとは一朝一夕にはいかないものであるが、伊賀国については案外、容易いことになるかもしれない。無限の可能性を秘めた「秘蔵の国」の人がたくさんいるのだから。

(伊賀学委員会 委員長 菊野善久)

こだわり人生乾杯

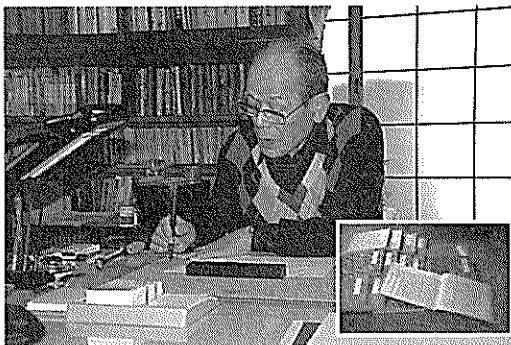
「写経が生活の一部に」

沢野憲太郎

私が勤めを終えて2年を経た平成5年4月、檀家総代（天台真盛宗 天照山阿弥陀寺）として奉仕することになったのですが、かねてから和尚から念佛を唱えることの大事さや、写経することのありがたさを教えられていましたので、この機会に写経してみても・・・と言う気になり、和尚から手本をもらい5月1日にはじめて写経というものに挑戦しました。

約50分二百七十六文字は、結構肩に力が入る行でした。一卷書けば次の日も出来る筈だと筆をとり、一卷書写を終えました。それから今に続いている訳で、写経は「日常の喧騒から少し離れ、お経の一字一字に心を込め、ただひたすら筆を動か

すとき邪念は消えやすらぎの心が生まれる」と言うことでありましたが、中々理解できずその様な心境にはまだまだ到達することはできませんが、あれから16年と8ヶ月を経過しました。これも、健康であったからのもので、これからも健康の許される限り佛さまを書いている気持ちで書き続けたいと思っています。

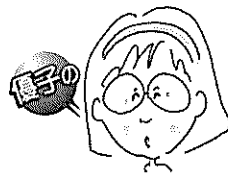


「お経はお釈迦様の口から出た金言で

一字一字が佛様…方々」（伊賀市川東在住）

「絆（きずな）」

北泉優子



多情 多感

No.28

我が家の主クリ。オスである。翌日早速に病院へ連行した。外猫の子だからどんな病気を持つているか分からないし、猫エイズの検査も必要だ。

クリはシヤム系かヒマラヤンの血が入っているらしく、外観はシヤムそっくり、尾っぽは長毛だ。病院で測ったら400g、掌に乗る大きさだ。先生と相談して、エサはドライフード。子猫時代は欲しがらだけ食べさせてやって、少々太り過ぎみのほうがいいと、アドバイスを受けた。幸い猫エイズは陰性に一度のワクチン注射もすんだ。

ではなく飛び廻る。机の物、棚の物は全部落す。あまりひどいのでゲージに入れたら、敷いてあるペットシートを噛んでゴミの山にした。夏から秋にかけて、わたしの両手両足は引っかけ傷だらけ、風呂に入ると染みて困った。コップはもう十個は割ってくれた。

ある日、ちよっと外出して帰り、「クリ帰ったよ」と声をかけたら、仏壇からとび出してきて仰天した。仏壇の供物、お道具類は部屋いっぱい転がっている。叱るより先にへなへなとなつて、座り込んでしまった。前号に書いた電話騒動など、日常茶飯事だ。

「生まれかわりかもわからないから、協力して、一匹もらうわ」わたしは、血まなこで里親を捜している友人に言った。彼は、捨て猫や迷い猫を保護し、エサをやり続けていた。全部外猫で、避妊処置なんかしてないから、増え放題だったようだ。そのうちの一匹が八匹の子どもを産んだのだ。だから、父親が誰か分からない。

子猫を育てるのは、人間の赤ちゃんなら大変だった。まずトイレは教えるまでもなく自分で入った。もう不用だからといただいたゲージに、留守の時と夜間は入れたくないと、家の中で行方不明になったり、家具の裏にもぐって出てこれないかもしれないからだ。ゲージに入ったのはたったの一週間。わたしのいる時は肩の上や膝の上にいるし、動けば必ず後をついてくる。夜はベッドの上で一緒に眠るようになった。なかなか順調と思つたのは、浅知恵だった。体重は順調に重くなり、四キ口近くになつていったが・・・

とにかくあばれ猫だったのだ。シヤム系だからと一応の心づもりはしていたがこれほどすごいとは考えもしなかった。廊下は走るの

（動物と子どもは、怒つたらだめ、叱りなさい）誰かの本で読んだ言葉が、いまずしんと胸にこたえている。怒るのは自分の感情をぶつけること。叱るのは理性で教えること——。クリがいたずらをする度に頭の中で呪文のようにくりかえして、叩いたり殴ったりする。ただけはさけていける。ゆえに、やんちゃをしても、五分も経つと膝の上へのっかってくる。これがわたしとクリの絆か——。そう思つて、そつとなでやると、ゴロゴロ咽を鳴らして眠ってしまう。絆の証拠はただ一つ、わたし以外に絶対になつかないのだ。人が来ると一気に逃げる。

「まあいいよね。二人で仲良くやってゆこう。ねえクリ」

（作家・市内在住）

参加者募集

本とおぼろ 全国訪問 おはなし隊

参加無料

inあやま文化センター

全国をまわる「おはなし隊」が伊賀に登場！
子ども達が本に親しみきっかけや、本を通じお子様と
ふれあう機会づくりにご活用ください



【日時】 3月21日(日) 15:30~16:30(予定)
【場所】 あやま文化センター 伊賀市川合3370-29

- 【対象】 2歳から小学校3年生まで
- 【内容】 キャラバンカー見学、大型紙芝居、本の読み聞かせ
- 【定員】 50名(参加無料、お菓子付き)
※定員になり次第、締め切らせていただきます
- 【受付】 2月21日(日) 9:00~
☎22-0511番にて受付



お菓子や
おみやげ
もあるよ!



■入交家住宅特別企画 華でいろどる武家屋敷

歴史情緒あふれる武家屋敷入交家住宅を、季節の木々や花々が、「鮮やかに」、「しとやかに」いろどります。静けさを感じる空間に、「華」が魅せる、その美しき風情をゆっくりお楽しみください。

- 【日時】 3月13日(土)~3月18日(木)
9:00~16:00
- 【場所】 入交家住宅 伊賀市相生町2828番地
※駐車場はございませんのでご了承ください
- 【料金】 入館料のみ
(大人200円/高・大学生150円/小・中学生100円)
- 【協力】 華道 嵯峨御流上野司所いけばなグループ「華」



~上野運動公園野球場一般開放~

今年も、まだまだ、やります! 集まれ! グラウンドゴルフ仲間!

- 【日時】 4月~11月 毎月木曜日2回(11月は1回のみ)
4月8日・22日 5月13日・27日 6月10日・24日
7月8日・22日 8月5日・19日 9月2日・16日
10月7日・21日 11月4日
●9:30~12:00 ※雨天時は中止

- 【場所】 上野運動公園野球場芝生外野
伊賀市小田町1470番地
- 【料金】 1人 100円(市外・市内関係なし)
- 【定員】 先着200名程度
- 【受付】 当日現地にて8:50~より受付
- 【協力】 伊賀市グラウンドゴルフ協会



Wチャンス 皆勤賞 & ラッキー賞

- ★皆勤賞★
※開催日(雨天時中止の場合は除く)全て出席された方に皆勤賞をプレゼントします! 初回のみ、出席カードを配布しますので、ぜひご参加ください!
- ★ラッキー賞★
※毎回抽選でラッキー賞が当たります! どんな賞品が当たるかお楽しみに!

グッチオープン de アウトドア料理 スコッチ & ミートローフ 牛乳パック de エコ工作に挑戦!

フリーストーン

寒さもやわらぎ、草花も昆虫も目を覚ます季節!
さあ家に閉じこもってないで岩倉峡公園キャンプ場でアウトドア料理&エコ工作に挑戦してみませんか?

- 【開催日時】 3月27日(土)
受付9:30~ 開始10:00 終了14:30(予定)
- 【場所】 岩倉峡公園キャンプ場
- 【参加料】 高校生以上1,000円/小・中学生800円
(材料費・入園料・傷害保険料含む)
- 【定員】 先着60名 ※定員になり次第締切ります
- 【対象者】 小学生以上(小学生は保護者同伴)
- 【申込】 2月28日(日) 9:00~☎22-0511で受付



春だ! 桜だ! お花見だ!

夜桜まつり

in岩倉峡公園キャンプ場

新青組や伊賀瑠
真太鼓のイイサ
ーもあるよ!

一夜限りの夜桜まつり...岩倉峡公園にあるサクラ並木と118mのつり橋をライトアップします。夜桜を見ながら皆でバーベキューやヤキソバを楽しみましょう!

- 【開催日時】 4月10日(土)
受付17:30~ 開始18:00~20:00(予定)
- 【場所】 岩倉峡公園キャンプ場
- 【参加料】 高校生以上1,200円/小・中学生800円
幼児500円(材料費・入園料・傷害保険料含む)
- 【定員】 先着10組 ※定員になり次第締切ります
(1組6~8名で申し込みください)
- 【持ち物】 飲み物・タオル
- 【申込】 3月14日(日) 9:00~☎22-0511で受付

お問合せ: (財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

参加者募集

ボクササイズ

全身引き締め効果的!!

- 【対象者】 高校生以上
 【日時】 毎週土曜日のみ・5回講座
 4月10日(土)~5月8日(土)
 受付 19:00/開始 19:30~20:30
 【定員】 30名 ※先着順。定員になり次第締切。
 【場所】 上野運動公園体育館 2階
 【料金】 2,500円(5回講座)
 【指導者】 中上 美代子先生



Let's YOGA

脂肪のつきにくい“やせ体質”を作ります!

- 【対象者】 高校生以上
 【日時】 毎週金曜日・10回講座
 4月2日(金)~6月4日(金)
 受付 10:30/開始 11:00~12:00
 【定員】 15名 ※先着順。定員になり次第締切。
 【場所】 上野運動公園スポーツセンター 1階
 【料金】 5,000円(10回講座)
 【指導者】 中 依伊子先生(バドマ会)



【申込方法】 3月6日(土) 9:00~22:0511で受付します。

※受付開始直後は、お電話が混み合いがかりにくい場合があります。予めご了承下さい。
 ※1回のお電話にてお申込みできるのは2名様までとします。

ママとベビーの3B体操 第1期

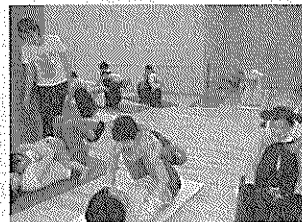
- 【対象者】 生後3か月から1才6か月までの赤ちゃん
 【日時】 毎週火曜日・10回講座
 4月6日(火)~6月15日(火)
 ☆10:00~10:50「あんよクラス」…よちよち歩き
 ☆11:00~11:50「ねんねクラス」…3か月から歩くまで
 【定員】 各15組限定 ※先着順とし定員になり次第締切。
 【場所】 ゆめドームうえの 軽運動室
 【料金】 5,000円

【申込方法】 3月3日(水) 10:00~電話受付。

※受付初日は、電話受付のみとさせていただきます。
 ※1回のお電話にてお申込みできるのは1組様までとします。

【申込先】 ゆめドームうえの
 ☎22-0590

【指導者】 日本3B体操協会
 公認インストラクター
 福岡 和代先生
 和田 久子先生

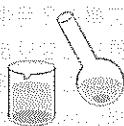


次代を担う君たちへ!

ゆめテクノ伊賀・こども大学

将来の科学者を目指し、サイエンスショーを楽しみませんか?!

昨年4月に開館した「ゆめテクノ伊賀」では、地域の児童が科学に興味を持ち、将来地域に貢献できるように人材育成を図る目的で、三重大学伊賀研究拠点などの協力を得て、次のとおり「ゆめテクノ伊賀・こども大学」を開設します。



【内容】 ●出前授業でおなじみの三重大学・加藤進客員教授監修によるサイエンスショー

- ペーパークラフトなどのおもしろ工作
- 創作ケーキの試食(ドリンク付き)

【開催日時】 3月28日(日)

午前の部/10:00 午後の部/14:00

【場所】 ゆめテクノ伊賀 3階テクノホール
 (伊賀市ゆめが丘1丁目3-3)

【対象者】 小学生 ※小学校3年生以下は保護者同伴

【保険料等】 1人100円(傷害保険料、材料費、飲み物代含む)

【申込方法】 3月8日(月)より「ゆめテクノ伊賀」

電話41-1061で受付ます。(定員になり次第締切)

※受付は平日の9:00~17:00

楽しいなにか? 便利ななにか?

嬉しいなにか? ここから生まれるよ

ぶんと「伊賀のたまご」



「伊賀のたまご」は当協会が運営する「ゆめテクノ伊賀」で活躍する大学の研究者及び新しい事業の創造に取り組む入居企業の紹介コーナーです。

弊社(アジアンリソース㈱)は、バイオマス事業に着目し国内外の様々な未利用バイオマスを取り扱い、現在バイオマス燃料の製造・販売を行っています。ゆめテクノ伊賀では新しい商品の研究開発(安全性、品質管理)を中心に活動しています。

弊社の取扱商品の中に木質ペレットがあります。木質ペレットはおが粉、端材などの木を使用し棒状に圧縮成型したエコ燃料で、木質ペレット用ストーブ、ボイラー等で利用され、現在では温浴施設、学校、農業用温室、一般家庭床暖房・給湯用ボイラー、一般家庭ストーブ用として普及し始めています。



木質ペレット

原料の多くはバイオマスタウン伊賀市の豊

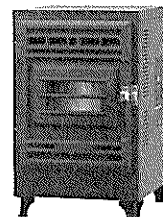
富な森林資源を中心に三重県内の国産木を使用し、建築廃材などの有害な化学物質を含んだ木を一切使用していませんので安心してお使いいただけ、また、地元伊賀での地産地消で地域の活性化に繋がり、大幅なCO₂の削減効果が期待できます。

さらに、弊社は、国内だけに限らずアジア諸国(フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ等)で未利用バイオマスのやし殻(ココナッツの殻)、PKS(パーム・カーネル・シェル)加工、輸入販売も行って、また、産業系廃棄物の内マテリアルリサイクルが困難な古紙及びプラスチックを原料とした高カロリーの固形燃料 RPF (REFUSE PAPER & PLASTIC FUEL) の取り扱いも行っています。

地球温暖化防止、CO₂削減にむけ、ゆめテクノ伊賀で研究開発を進める弊社に興味があれば、お気軽にお問い合わせください。

TEL: 059 (398) 1088

E-mail: info@asian-r.com



木質ペレット用ストーブ

お問合せ: (財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

ホール・ドーム **これから** 情報

あやま文化センター 伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
2/28日 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加料500円	(勸)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
3/7日 11:00~	3B体操 こども大会	無料	3B体操 ☎23-5283(和田)

ふるさと会館いが 伊賀市下栢植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
3/3日 10:00~	絵本の時間 (絵本の読み聞かせ)	小ホール	無料	いがまち公民館教室 ☎45-9122(西川)
3/7日 13:30~	第10回音楽鑑賞会	大ホール	一般1,000円 高校生以下500円	(勸)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
3/13日 18:30~	チャリティーライブ [Full・Come・Live Vol.30]	小ホール	無料	(勸)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)

青山ホール 伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
2/27日 13:30~	第16回 みんな集まれ青山の子ども	無料	青山地区民生委員児童委員協議会 ☎52-3228 (伊賀市青山支所住民課中井)
3/6日 14:00~	東京混声合唱団 青山ホール特別公演	全席指定 一般2,000円	(勸)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
3/14日 14:00~	青山ホールこども劇団「うてかえりこんぼ」 第5回定期公演 僕たちの伝説のヌー大陸	一般 700円 小学生以下500円	(勸)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
3/27日 14:00~	9th Concert in Aoyama フルートとオカリナによるコンサート	無料	なかおかフルート&オカリナ教室 ☎21-3072(山本)
3/28日 13:30~	まなびあおやま 和太鼓教室発表会	無料	伊賀市教育委員会・青山公民館 ☎52-1110(境)
4/4日 13:00~	リピートピアノ発表会	無料	森下・森田 ☎64-1122(森田)
4/10日 14:00~	池澤由賀子フルートリサイタル ゲスト フルート奏者 大西宣人	一般1,500円 高校生以下1,000円	池澤由賀子 ☎090-4189-7535
4/11日 14:00~	第12回ピアノコンサート	無料	真島信子 ☎52-2352

伊賀市文化会館 伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
3/5日 19:00~	佐藤しのぶ オペラ・ファンタジー 蝶々夫人	一般2,500円 高校生以下1,500円	(勸)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
3/7日 10:30~	ママとベビーの ジョイフルコンサート Vol.2	前売(小学生以上) 500円 当日 700円	(勸)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
3/14日 10:00~ 14:00~	ヤマハ音楽教育システム MUSIC FESTIVAL 2010	無料	(株)さわ楽器 ☎23-8080
3/15日 10:00~	第54回 新入学を祝うよい子のつどい	無料 (今春の新入学児とその親御)	中日新聞/中日こども会 ☎21-3241
3/20日 14:00~ 18:00~	2009年度長期共済新契約 高額加入者招待歌謡ショー	新契約加入者 招待	伊賀北部農業協同組合 ☎24-5111
3/28日 11:00~	琴城流大正琴 20周年記念コンサート	無料	琴城流大正琴 津・伊賀支部 ☎43-1705
4/11日 未定	第30回 新人演奏会 in いが	一般1,000円 高校生以下500円	(勸)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)

ゆめドームうえの 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
3/6日 9:00~	わくわくこどもフェスタ ライオンズクラブデー	第1	伊賀上野ライオンズクラブ ☎22-9801
3/7日 9:00~	第3回伊賀市小学生 ソフトバレーボール大会	第1	伊賀市小学生バレーボール連絡協議会 ☎21-5748(生中)
3/14日 9:00~	三重県クラブバレーボール連盟 後期大会	第1	三重県クラブバレーボール連盟 ☎090-2347-1091(福岡)
3/21日 9:00~	平成21年度伊賀市小学生 バレーボール六送交流会	第1、第2	伊賀市小学生バレーボール連絡協議会 ☎21-5748(生中)

施設のお知らせ

●大山田せせらぎ運動公園の使用再開について

大山田せせらぎ運動公園は、平成21年10月の台風による被害で使用休止となり皆様には大変ご迷惑をおかけしていますが、整備工事を3月中に終える予定で、4月1日からは使用が再開できる見込みになりました。

施設のご利用をお考えの方は、大山田B&G海洋センターまでお問い合わせください。

大山田B&G海洋センター ☎47-0551

●工事により使用休止となっていた施設の使用再開について

工事により使用休止となっていた施設は、下記のとおり使用を再開する予定です。

施設のご利用をお考えの方は各施設までお問い合わせください。

◇阿山B&G海洋センターアリーナ (☎43-1380)
大山田B&G海洋センターアリーナ (☎47-0551)
平成22年2月24日から使用再開予定

◇上野運動公園テニスコート (☎23-5192)
平成22年3月1日から使用再開予定
※なお、照明設備の使用開始は6月1日を予定しています。



◇伊賀市文化会館さまざまホール (☎24-7015)
平成22年3月5日から使用再開予定

●伊賀上野交流研修センターのプロジェクトが

利用しやすくなりました。

伊賀上野交流研修センターの第1研修室に設置しているプロジェクトに、パソコンを接続できるよう改修しましたので、会議や研修等でご利用ください。

伊賀びと川柳

鶯にストレス癒える伊賀の里
福沢 義男

挨拶に伊賀弁添えて暮れの品
井ノ上 撰男

メタボ腹日野菜の色香でもう一膳
松原美知子

芭蕉さん全国行脚車にて
高橋せつ子

伊賀走る忍者列車の衣更
馬岡 喜子

次号の締切は3月15日です。投稿いただいた方の中から★印の方に「第5回さんさんコンサート」チケットをペアでプレゼントします。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで下記までお願いします。

●編集部だより

現在、お城と並んで伊賀のランドマークになる市庁舎が盛んに議論されている。各論はそれぞれあるのだと思うが、是非にお願いしたい。目先のことに捉われず50年、100年先を見据え、次の世代に伝えることができる選択をしようではないか。地域の「誇り」こそが、我々の宝物だから・・・。(広報事業委員 辻村勝則)

お問い合わせ (財)伊賀市文化都市協会 TEL.0595-22-0511
FAX.0595-22-0512
☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2 Eメール samazama@bunto.com

- 伊賀市文化都市協会 <http://www.bunto.com>
- ふるさと会館いが <http://www.ict.ne.jp/~furukan/>